

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【公開番号】特開2016-33321(P2016-33321A)

【公開日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2016-015

【出願番号】特願2014-166197(P2014-166197)

【国際特許分類】

E 0 4 B 1/18 (2006.01)

E 0 4 B 1/21 (2006.01)

E 0 4 B 1/20 (2006.01)

E 0 4 B 1/22 (2006.01)

【F I】

E 0 4 B 1/18 A

E 0 4 B 1/21 A

E 0 4 B 1/18 G

E 0 4 B 1/20 A

E 0 4 B 1/22

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月25日(2017.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長方形柱の柱頭柱脚両端小口に共通の接合部を備え、梁の両端から約 2 等分の 1 中央部の上下両面それぞれに前記柱頭と柱脚の両端断面小口と共通一对の突起接合部を備え、前記梁端同士が複数平面的に直線状又は直交状に、梁中心軸の交点で接合する共通のピン接合突起仕口を梁端小口までの距離を均一に予め備えた、前記、柱頭小口接合部と梁中央部の下面突起接合部相互を剛接合した T 型基本架構の連結体。

【請求項 2】

前記、請求項 1 記載連結体の梁両端小口に梁端同士複数を接合する共通のピン接合突起仕口を予め備え、上下から共通一对の着脱する嵌合部品で接合する連結体。

【請求項 3】

前記、請求項 1 及び 2 記載の連結体複数梁端同士が平面的に多様な角度で連結した連結体。

【請求項 4】

前記、請求項 1 ～ 3 記載の連結体の柱梁の断面が長方形の柱頭・柱脚の両断面小口短辺両側に、予め内設する P C 棒鋼等が梁を貫通して、柱と梁を圧着接合する接合部を予め備え、柱断面長辺を梁方向に合わせた、前記、請求項 1 から 3 のいずれか一つに記載の連結体。

【請求項 5】

前記、請求項 1 ～ 4 記載連結体の梁及び基礎梁の位置を同一垂直線上又は基礎梁と柱が逆 T 型とした、前記、請求項 1 から 4 のいずれか一つに記載の連結体。

【請求項 6】

前記、請求項 1 ～ 5 記載の連結体を平面的に直線又は並行又は直交、又は多様な角度、又

は円弧で囲む外郭線、又は円弧の放射角、又は放射角に直角、又は特定の梁を介し配置連結した、前記、請求項 1 から 5 いずれかの一つに記載の連結体。

【請求項 7】

前記、請求項 1 ～ 6 記載の連結体に一体的に組み込まれた、接合部品、基礎、床、内外装、開口部材、屋根、バルコニーそれぞれに使用する部材・部品・建材・設備。